



表紙  
裾野の兩殿下(三色版)……………松野一夫  
繪口 貴家兩院の臨時議會……………  
ス井ツルの冬景色……………  
時事畫報……………

攝政宮の御事ども……………川村五峯謹(二)

秩父宮雍仁親王殿下……………田所成恭記(一四)

飛火の群(詩)……………兒玉花外(元)

新しい頭、新しい東京……………内田魯庵(三)

日の丸國旗の由來(三)……………川村五峯(五)

外國語を學ぶ人に……………醫學博士小酒井不木(三)

海陸發見者列傳(三)……………日本力行會長永田稠(三)

北國の旅(繪行脚)……………小野寺秋風(六)

國民性進化の輪廓(下)……………沖野岩三郎(四)

米國の生んだ四偉人……………高山辰三(三)

砲彈を潜りて(三)……………海軍少佐川田功(五)

人名 女流圖畫界の最高役者……………  
喜多文子女史苦心譚……………(六)

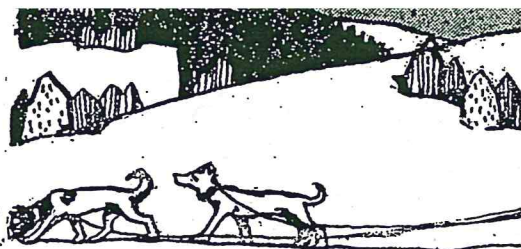
業 能筆言界の第一人者……………  
山本東次郎氏修業談……………(七)

潮 干狩(江戸探偵物語)……………岡本綺堂(二)

風變りな泥捧……………荻野茂(三)

非踊子の足……………大森一梟(三)





因果者師と巡査

和歌  
餘載  
小説梗概

田中健三郎(三六)  
羽生操(三五)  
松澤雪松(二四)  
松(二四)  
(二五)

英米怪奇探偵小説

愛してはならぬ女……………(英)ピーストン(二六)

教授の手に……………(米)パンチヨン(二七)

完全な犯罪……………(米)デヴィス(二八)

懸りなし……………(米)ランドン(二九)

拳骨……………(英)アーサー・リーヴ(三〇)  
延原謙譯(三三)

長篇

骨(五)

アーサー・リーヴ(三〇)  
延原謙譯(三三)